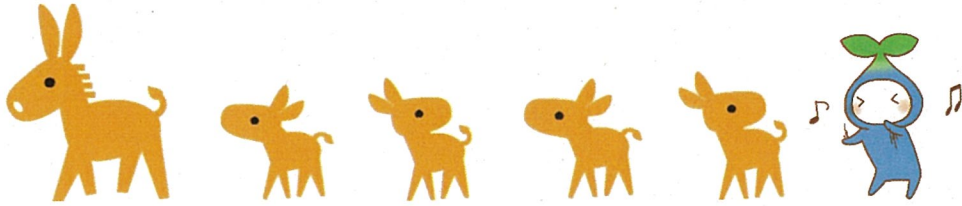


安曇野市オレンジキャンペーン

—認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために—



日本では2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるといわれており、認知症は他人事ではありません。国際アルツハイマー病協会（ADI）は世界保健機関（WHO）と協力のもと、毎年9月を世界アルツハイマー月間と定め、認知症への理解を深める活動を行っています。当市でも認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するため、広く市民の方に認知症を知るきっかけとなり、また正しい理解につながることを目的として行います。

シンボルカラーであるオレンジ（柿）色は江戸時代に活躍した陶工 酒井田柿右衛門が作った赤絵磁器の柿の色に由来します。この磁器は海外に輸出され、高い評価を受けました。そうしたところから日本から世界に広く知れ渡ることを願って認知症パートナーキャラクタのシンボルカラーとなりました。また温かみのあるこの色は「手助けします」という意味を持ちます。



キャンペーン内容

- ① 図書館特設コーナー <<9/8～9/22>> 市内5館（中央、豊科、三郷、堀金、明科）
認知症に関する推薦図書展示など
- ② 広報 8/12 認知症特集
- ③ 市役所 1階東認知症に関するワークショップ初展示など <<9/7～9/18>>
- ④ 本庁舎ライトアップ <<9/16（水）18：00～20：00>>
- ⑤ 市役所職員（認知症パートナー養成講座を受講者）によるオレンジリング装着 <<9/16（水）>>

問い合わせ：地域包括支援センター 認知症地域支援推進員、介護予防担当